

横浜市立桂小学校 平成 28 年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
○地域の中の学校を創造する	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域、PTA 行事等に教職員が積極的に参加できるよう、校務分掌に役割分担を位置付け、地域を意識した教育活動を展開します。(学校防災を含む) ・現在の桂小教育懇話会から桂小学校運営協議会の設置に向けて検討を始めます。(目標 H29 年度) ・言語活動の重視 (優しさを心に秘め行動する子) します。 ・体力向上の重視 (自ら自分の体を高める子) 	

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

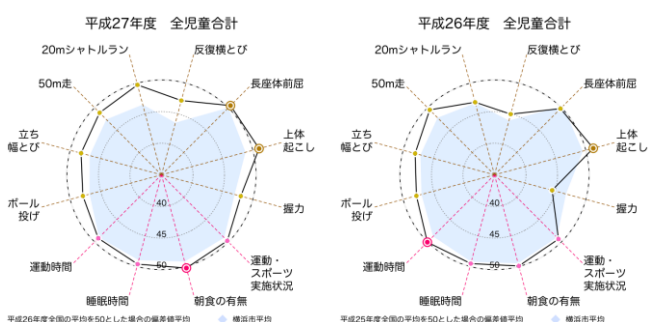
重点取組分野	取組目標	具体的取組
健やかな体	「できた」「わかった」が実感できる授業を中心としながら、教育活動全体を通して、健やかな体の育成し、自ら自分の体を高める児童の育てる。	① 自己の成長を記録し、振り返り見つめ合うツールや場面を用意する。 ② 桂ギネスやふれあいランニングを中心に、子どもの運動場を増やしていく。 ③ 体力テストの結果等を保護者と共有するなど、家庭や地域と連携し、体力の向上、生活習慣の改善を図る。
担当	体育部	

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・全国平均や市平均に比べ新体力テストの数値が低い。
- ・朝食の摂取率は高い方だが、小食な子どもが多い。
- ・地域に外遊びができる空間が多いのだが、通塾率が高く、運動不足になる児童も多い。そのため、よく体を動かす児童と、そうでない児童との二極化が顕著に表れている。
- ・保健室の利用状況(傷病の状況)は、心の不安定さから来室する子どもが多く、養護教諭や専任教諭が対応に追われている。
- ・1校1実践運動の取組の様子をみると、楽しみにしながらしっかり取り組んでいる子どもも多くいるが、全員が取り組んでいる現状ではない。

(2) 体力の概要と要因の分析(小学校は全校配付の体力・運動能力調査分析チャートを活用)



H26 年度では、ほとんどの種目が全国平均を下回っており、特に握力や長座体前屈、反復横跳びが著しく低かったが、H27 年度の結果では、すべてにおいて、前年度を上回る結果となっていた。桂ギネス測定会の成果と思われる。

しかしながら、握力、反復横跳び、50M走、立ち幅跳び、ソフトボール投げは全国平均を下回っている。これは、一日の運動時間の低さからもわかるように、運動経験の低さによるものと思われる。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科での取組》

- 個に応じた教材の工夫
- ・子どもの能力に教材の特性を合わせた魅力的な教材の工夫
- ・子どもが選択・工夫できる教材設定
- 「できた」「わかった」を感じられる指導
- ・自己の成長を記録し、振り返り見つめ合うツールや場面を用意する
- 学びへの支援
- ・運動量を確保するマネジメント
- ・積極的指導
- ・安全マニュアルや準備運動マニュアルの活用

《他教科での取組》

- ・家庭科では、日々の生活を振り返り、自分の睡眠時間や食事について考える。

道徳・特活・総合等

- ・運動委員会で体育的な行事や集会を企画・運営して運動に対する関心意欲を高める。
- ・運動会では、体育科で培った資質能力をさらに発展させ、体を巧みにリズムカルに動かす能力を高める。
- ・保健委員会では、児童生徒の健康面での課題を解決する取組を行う。
- ・安全指導では、自ら危険を回避し、安全を確保することができるよう指導していく。
- ・休み時間を利用した、運動遊びの紹介及び実践。
- ・給食（昼食）後の歯磨き活動を全校実施する。
- ・道徳科の授業を通して、自らの健康づくりについて、自分の生き方を見つめる。

課外活動

- ・「健康手帳」を活用して体育健康に関する情報を家庭と共有する。
- ・学校保健委員会（PTA学習会）等において、健康の保持増進に関する取組を推進する。

平成28年度 桂小学校学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 ①桂小ギネスの継続的实施 ②ふれあいランニングの実施

《ねらい》 年間を通して、運動機会を設け、自己の記録をとることで、自己の体力の伸びを実感し、自ら自分の体を高める児童の育てる。

《内容》 ①運動委員会を中心に、2ヶ月に一回を目安に体育館で中休みに桂小ギネス測定会を行う。体育館でのギネス測定は、体力テストの項目と縄跳びの測定を行う。
②朝の学習の時間を利用し、1週間に1回、校庭をランニングする。ランニングを通して、課題である走の感覚を鍛える。

●指 標： ①年間を通して、自己の記録をとる。記録カードをもとに検証する。
②運動能力調査の結果から検証する。
③生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「1日の運動スポーツの実施時間」から検証する。

※体育・健康プランは学校全体の体育・健康に関する指導の全体計画であり、体力向上の取組である「体力向上1校1実践運動」はその一部です。

※体力向上1校1実践運動の取組については、学校ホームページに記載してください。

＜参考＞ 学習指導要領総則 「学校における体育・健康に関する指導は、児童（生徒）の発達段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする。」